紀元節復活反対!平和・民主主義・人権を守る

2.11ヒロシマ集会

日　時　2月11日（火曜日）午前10時から

会　場　自治労会館3階ホール

（西区民文化センターの南）

内　容　講演「天皇代替わりで進む心の支配」

～強まる国民統合と文民統制の崩壊～

講師　纐纈（こうけつ）　厚（あつし）（山口大学名誉教授）

プロフィール

◇1951年岐阜県生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了、政治学博士。
山口大学理事兼教育学生担当副学長。

◇『防諜政策と民衆』、『侵略戦争－歴史事実と歴史認識』、『監視社会の未来』、『侵略戦争と総力戦』、『逆送する安倍政治』、最新刊『自衛隊加憲論とは何か～日米同盟の深化と文民統制の崩壊の果てに』など、著書多数。

主　催＝憲法を守る広島県民会議、原水爆禁止広島県協議会
広島県平和運動センター、戦争をさせないヒロシマ1000人委員会

連絡先＝憲法を守る広島県民会議　（☎　082－942-2768
広島県平和運動センター　（☎）082－503－5855

守ろう9条
活かそう憲法

平和・民主主義・人権の確立を

紀元節復活反対！2.11ヒロシマ集会

◆2月11日は「建国記念日」とされています。

2月11日の「建国記念の日」は、神話をもとに明治政府が制定し、侵略戦争を美化し天皇を賛美する象徴的な日だった戦前の「紀元節」を、1967年にときの政府・自民党政権が各界の反対を押し切って制定した日です。私たちは紀元節復活に反対し、平和・民主主義・人権を発信する日として毎年、「集い」を開催しています。

◆平和と人権の危機は同時にやってくる

殺伐とした事件や被差別少数者を標的にした差別は、その時代や社会の歪みを映し出します。ヘイトスピーチを公然化させた安倍政治。アメリカでの人種差別・排外主義、女性蔑視の大統領出現。ヨーロッパでの移民、難民排斥の極右政党台頭など、暗雲が世界を覆っています。これらの背景には、グローバリゼーションによる格差の拡大がもたらした多くの人々の不満・鬱積があります。その不満・鬱積が社会的弱者に向けられる状況と「戦争法」強行採決に象徴される平和の危機的状況は同時にやってきます。

◆一段と強まった天皇の政治利用

こうしたなか、神道形式の宮中祭祀を公費（宮廷費）で行い、マスコミや経済界を総動員し国民に「祝賀」ムードへの同調を強要した一連の「代替わり」キャンペーンが展開されました。国民を天皇賛美に動員すると同時に、現代日本の政治や社会の矛盾を覆い隠すことを意図した、憲法が規定する天皇の政治的位置や役割をはるかに超えた「天皇の政治利用」に他なりません。

この行き着く先は、文民統制が崩壊した戦争をする国へと変貌した日本国です。こうした事態を許さないため、私たちは今年も集います。皆さんの参加をお待ちします。